

令和2年度 岐阜市障害者総合支援協議会 第1回全体会 議事要旨

今回の全体会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて開催。

以下の事項について意見を得た。

1. 岐阜市障害者総合支援協議会会長について

会長 岐阜市社会福祉協議会 島塚 英之氏

職務代理者 岐阜県立看護大学 茂本 咲子氏

2. 令和元年度障害者総合支援協議会全体会・専門部会に関する意見

- ・専門部会においてはどのテーマも重要で、有意義。
- ・事業所対象の虐待防止研修は日々現場で支援に追われ、外部研修を受講する機会が少ない職員にとって、他事業所の職員と意見交換や情報交換もでき貴重な機会であった。虐待防止においては、自分や同僚が行う支援を客観的に見ることも大切。日頃の支援を振り返る機会にもなった。
- ・岐阜市障害者総合支援協議会の専門部会は、縦にも横にも機関の連携が取れるように幅広い関係者に呼びかけ開催されており、素晴らしい。
- ・それぞれのテーマについて「本人の意思決定支援」をどう考えていくのかという視点を取り入れてほしい。
- ・障がい者の孤立化防止は、とても大切で素晴らしい取り組み。利用がない方も利用できない方も、どこかと繋がっていることは介入時を逃さないために大切。ただ在宅での支援者が高齢分野よりもはるかに少ない状況で、継続的な見守りや支援をどこまで繋いでいけるのかを考えると大変なこと。専門職だけでは限界があるのではないか。在宅で暮らし続けるためにという視点では、認知症支援でも地域の理解が課題となっているように、障がいに対する地域の理解や、地域の中で支援者を増やすといった取り組みも今後勉強したい。

3. 令和元年度基幹相談支援サテライト事業報告や今後の事業に関する意見

- ・丁寧な対応をしている。
- ・障がいに関する総合的な窓口として重要な役割を果たしている。当事者だけでなく支援者にとっても心強い存在。
- ・専任の相談支援専門員は幅広い知識と専門的相談における高いスキルが求められるため、これまで通り研鑽を積んでほしい。
- ・基幹ミーティングは気軽に参加できるため、今後も定期的に開催していけるとよい。基幹の担当者が担当地区の特定相談支援事業所を訪れて、指導や助言を行える場があってもよい。
- ・相談支援専門員の資質向上ができるとうよい。

- ・現場で対象者に向き合う相談支援専門員にとっても、障がい福祉の制度について勉強不足な関係者にとってもサテライトはとても心強い機関。課題にもあったように、後継者の確保・育成が大切。

4. 令和2年度障害者総合支援協議会全体会・専門部会に関する意見

- ・虐待防止について
- ・地域生活支援等拠点整備について
- ・新型コロナウイルス感染症に関する本人や家族の入院などの支援体制、わかりやすい情報提供の徹底など
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため今までと同じ支援が受けられない、特別支援学校高等部3年生への確実な卒業進路指導など
- ・福祉ホームの整備について
- ・知的障害者のための地域活動センターの整備について
- ・超短期雇用モデルについて